

## 日本大腸肛門病学会専門医修練カリキュラム経験数

I 内科・放射線科・病理科・その他  
 II a 外科  
 II b 肛門科

検査および処置	I	II a	II b
注腸造影（読影）・全大腸内視鏡 *	300	200	80
内視鏡的ポリヘクトミー・EMR など *	80	30	10
超音波（読影：腹部、肛門、大腸）	100	100	30
CT・MRI（読影：腹部、骨盤）	100	100	30
直腸・肛門診	30	100	300
合計数	610	530	450

\* I では術者としての経験のみを認める

手 術 **	II a	II b
結腸切除（部分切除、半切除及び大腸全切除）	30	10
直腸切除術及び直腸切断術	30	10
人工肛門造設術及び腸瘻造設術	10	10
肛門疾患（痔核、痔瘻、肛門周囲膿瘍、裂肛など）	50	200
合計数	120	230

\*\* 助手としての経験も認める

注：I、II a、II b、のうち基本診療科を選択し、各カリキュラムの項目別に規定された数を十分に満たす症例を提出のこと。